

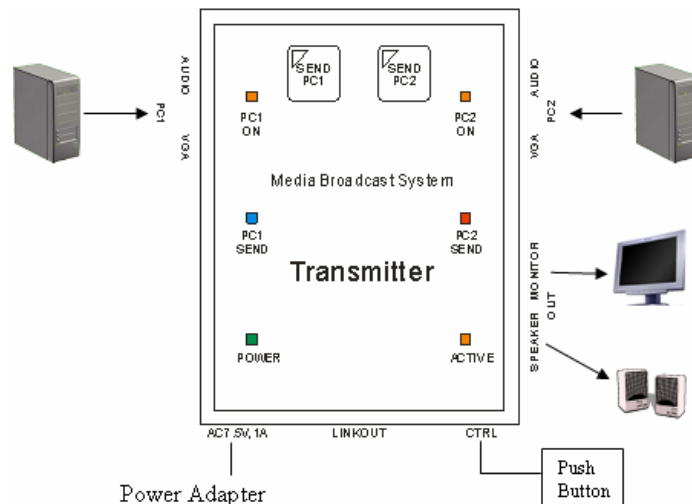
AV メディアエクステンダ IE-500 ユーザマニュアル

1ポートトランスミッター: IE-500T1, 1出力レシーバ(ローカルチャンネル無): IE-500R1
 4ポートトランスミッター: IE-500T4, 2出力およびローカルチャンネル付レシーバ: IE-500R2
 4/8/16/32ポートトランシーバー(トランスミッター&レシーバ): IE-500TR4, IE-500TR8, IE-500TR16, IE-500TR32

1. IE-500T1 ベーシック(シングルポート)モデル: 導入と操作

(1) IE-500T1トランスミッターの導入:

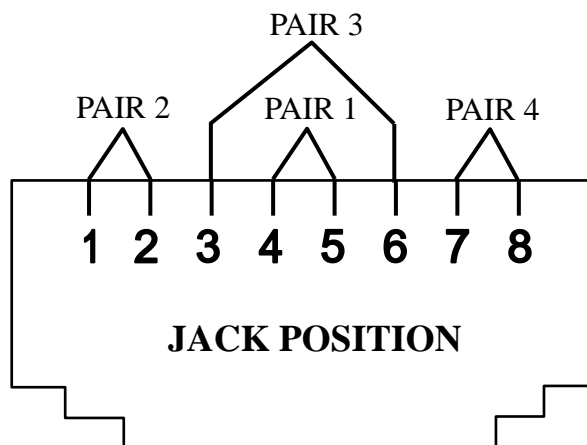
- A. **設置場所の選定:** 初回導入時には、トランスミッターをPCまたはAV機器(音声および映像出力器)の近くに置いてください。システムボックスに固定するには、(付属の)取付式ラックマウントキットまたは(本体裏面の)磁気パッドを利用することができます。
- B. **モニタとスピーカの接続:** 電源アダプタをトランスミッターに差し込み、モニタとスピーカをOUTポートに接続します。POWER LED が緑色に点灯し電源ON状態を示します。そして、“PC1 ON”、“PC2 ON”、“ACTIVE” LED はオレンジ色に点滅し未接続状態を示します。次に、トランスミッター本体の“PC1”ポートに AV 機器からの信号を接続(入力)する為に VGA およびオーディオケーブルを準備(接続)してください。2番目の AV 機器は“PC2”ポートに接続します。
- C. **機能テスト:** 1台目の AV 機器の電源を入ると、トランスミッターの“PC1 ON”LED がオレンジ色に点灯します。パネル上の“SEND PC1”ボタンを押し、モニタとオーディオの機能を確認します。2番目の AV 機器が接続されている時は、“SEND PC2”ボタンを押し2番目のチャンネルの基本動作を検証してください。“ACTIVE” LED が点灯し、AV 信号の接続とブロードキャスト(信号配信)の動作を示します。
- D. **配信信号の選択:** チャンネルを容易に切り替える為に、外部に押しボタン付きケーブルを接続することもできます。



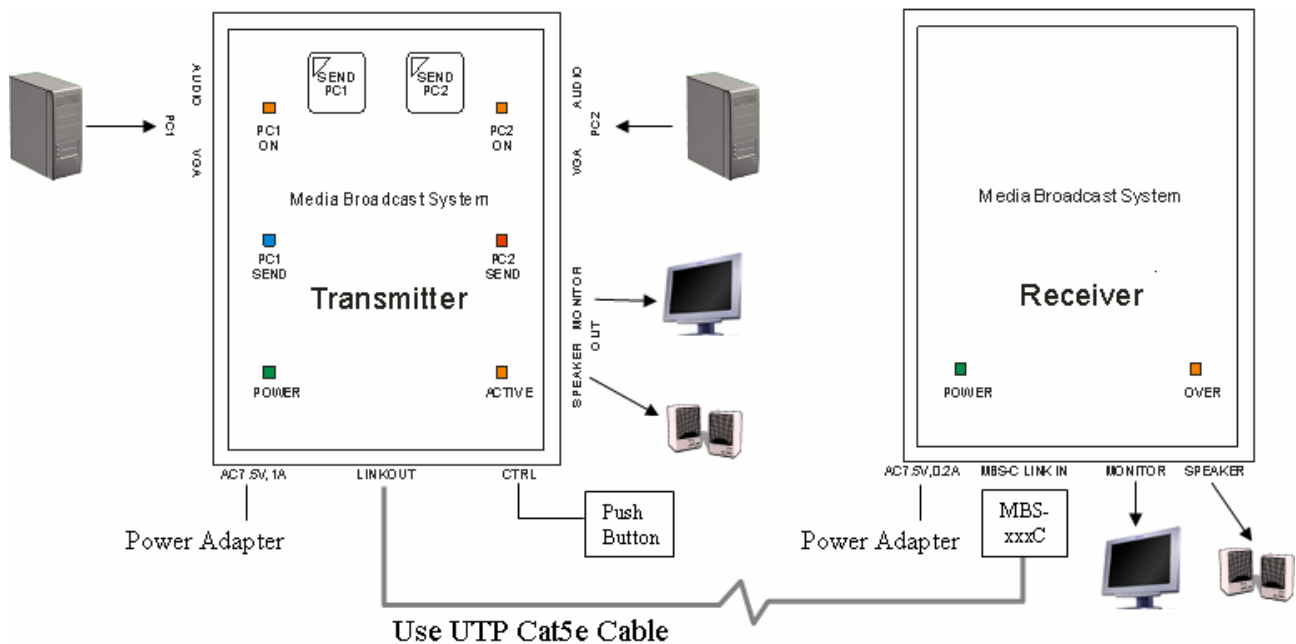
トランスミッター IE-500T1 の導入図

(2) レシーバ IE-500R1 の導入と UTP 接続:

- A. **設置場所の選定:** 適切な場所にレシーバを設置し、後で接続する UTP ケーブルを敷設しておきます。
- B. **電源の投入:** 電源アダプタをレシーバに差し込み、モニタとスピーカを ”OUT”ポートに接続します。パワーLED が緑色に点灯し、電源ON状態を示します。
- C. **MBS-xxxC 距離チェンジャーの接続:** 延長する距離に合わせて、適切な距離チェンジャーを選択してください。型番中の3つの数字は、適合可能な距離(メートルにて)を示します。例えば、MBS-300C は 300mの長さ(のケーブル用)の距離チェンジャーを示します。チェンジャーの型番の下には、延長距離の範囲の記載があります。距離チェンジャーを本体の ”MBS-C LINK IN” ポートに接続してください。
- D. **UTP ケーブルの選択:** 最高の VGA 解像度を得るためには、接続に Cat5 エンハンストケーブル(バンド幅 350MHz) を使ってください。推奨品は次のとおりです: Belden 社製 DataTwist 350 UTP -#1700A-Solid、 DataTwist 350 patch -#1752A - Stranded、 Belden DataTwist Category 5e -1583A-Paired。コネクタは、568B/568B 形式で製作してください。568B の EIA/TIA 規格上のピン配列は (1) 橙白、(2) 橙、(3) 緑白、(4) 青、(5) 青白、(6) 緑、(7) 茶白、(8) 茶 です。



- E. **UTP ケーブルの接続:** UTP ケーブルの両端を、トランスミッターとレシーバの RJ45 UTP 接続ポートに差し込むと、レシーバに接続されているモニタとスピーカは動作するはずでず。(これらの両端は 568B/568B 形式であることを確かめてください。) 長すぎる距離チェンジャーが使われると、(レシーバ上)OVERのLEDがオレンジに点灯し、モニタは映像を表示できないことがあります。この場合は、もっと短い距離チェンジャーに交換してください。距離チェンジャーを使ってもそのサポート距離が短すぎる時、OVERのLEDは点灯しませんが映像の焦点は合いませんので、もっと長い距離チェンジャーに交換して下さい。もし色が異常な時は、接続ケーブルまたはRJ45コネクタを調べて下さい。



レシーバ IE-500R1 の導入図

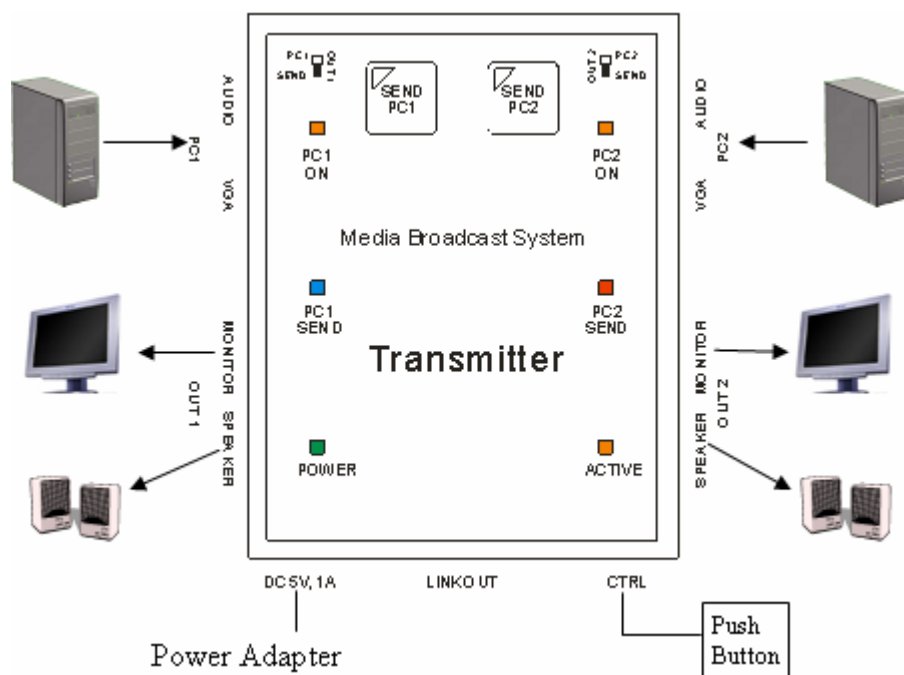
- F. **機能テスト:** 上記設置の後、レシーバに接続したモニタとスピーカに AV 信号を配信できるようになります。
- G. **問題とその解決:** もし導入後に不安定な映像や音声の不具合が見つかった場合、まず以下の事項を確認し、さらにサポートが必要な時は購入先にお問い合わせください。
- PC の VGA 解像度と周波数(の出力設定)が、表示装置の(性能の)限界を超えていないか確認してください。もし超えていれば、Windows のコントロールパネルから VGA の設定を変更してください。
 - モニタとスピーカを直接パソコンに接続し、これらの機器の基本的な動作を確認して下さい。
 - LCD または同種のモニタを使用している場合、多少の映像の弱まり、ちらつきが発生するかもしれません。改善された映像を得るためには、LCD モニタの位置、動作周波数、位相を調整するか、単に(モニタ装置上の)“Auto Adjust / Tune”(ボタン)を押してください。

(3) IE-500T4 マルチポートモデル: 導入と操作

- 設置場所の選定:** 初回導入時には、トランスミッター(IE-500T4)を PC または AV 機器の近くに置いてください。システムボックスに固定するには、(付属の)取付式ラックマウントキットまたは(本体裏面の)磁気パッドを利用することができます。
- モニタとスピーカの接続:** 電源アダプタをトランスミッターに差し込み、2セットのモニタとスピーカをそれぞれ“OUT1”と“OUT2”のポートに接続します。次に、トランスミッター本体の“PC1”ポートに AV 機器からの信号を接続(入力)する為に VGA およびオーディオケーブルを準備(接続)してください。2番目の AV 機器は“PC2”ポートに接続します。
- 機能テスト:** 2セットの AV 機器の電源を入れます。トランスミッターの“PC1 ON”と

“PC2 ON”LED がオレンジ色に点灯します。次に、パネル上部の2つのディップスイッチを“PC1”と“PC2”に切り替え、それぞれに対応するローカル信号を監視します。2セットの(ローカルの)モニタとスピーカの信号(が正常であること)を確認し、次にディップスイッチを“SEND”に合わせると、出力ポートに接続されたモニタとスピーカがブロードキャストされた信号に切り替わります。ブロードキャストされた信号の監視機能をチェックするために“SEND PC1”または“SEND PC2”のボタンを押してみてください。(押した方の)“PC1 SEND”または“PC2 SEND”のLED もまた点灯し、信号がブロードキャストされたことを示します。

- D. **ブロードキャスト信号の選択:** 別チャンネルへの切り替えを容易にする為に、外部押しボタン(ケーブル)を接続することができます。またローカルまたはブロードキャスト信号を監視する為に、これら2つのディップスイッチを巧みに利用することができます。



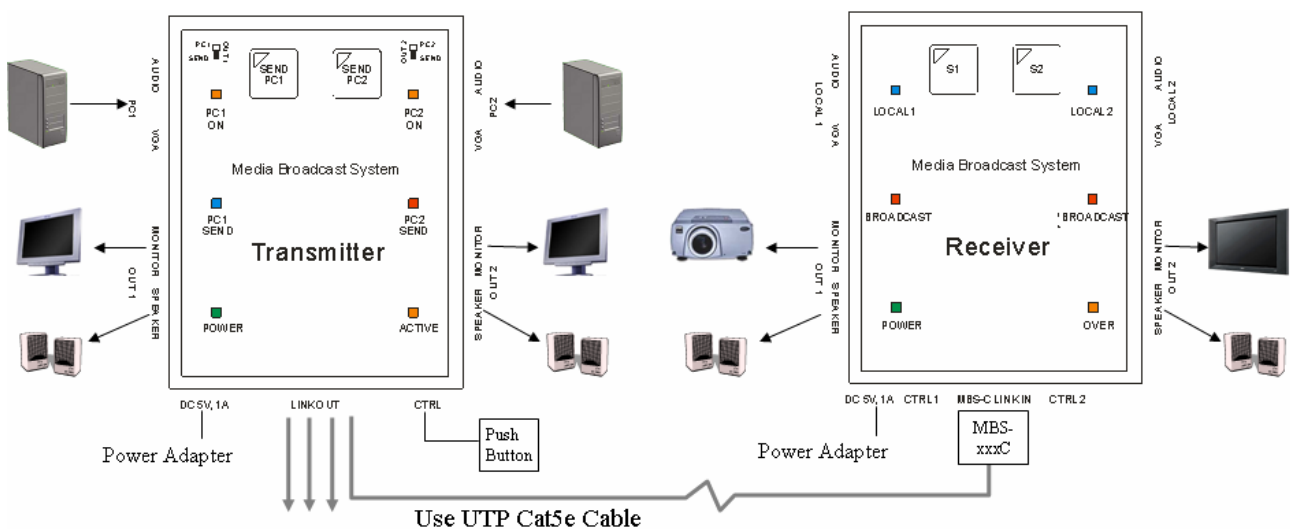
トランスミッター IE-500T4 の導入図

(4) **ローカルチャンネル付きレシーバ IE-500R2 の導入**

- A. **設置場所の選択:** 適切な場所にレシーバを設置し、後から接続する UTP ケーブルを敷設してください。このレシーバは2つの独立したAV出力(のコネクタ)を備えています。モニタとスピーカ(HDTV, PDP, LCD, CRT, プロジェクターおよびスピーカ)を設置するのに適した場所を選択して下さい。
- B. **電源投入:** レシーバに電源アダプタを差し込み、2セットのモニタとスピーカをそれぞれ“OUT1”と“OUT2”ポートに接続します。パワーLED が緑色に点灯し、電源 ON 状態を示します。
- C. **MBS-xxxC 距離チェンジャーの接続:** 延長する距離に合わせて、適切な距離チェンジャーを選択してください。型番の3桁の数字は、適合する距離(メートル)を示します。例えば、MBS-300C は 300 メーターの長さに合うチェンジャーを示します。また、型番の下に

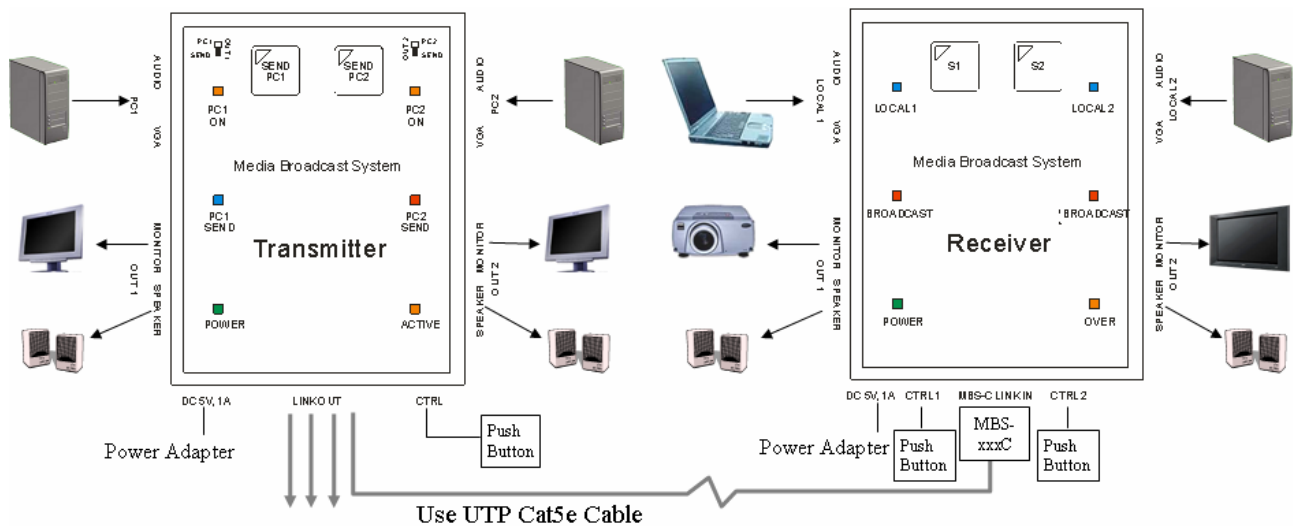
は、延長できる距離の範囲が記されています。（→例：L=290 – 310m, 20mの範囲内で対応します）チェンジャーをレシーバの“MBS-C LINK IN”ポートに接続してください。

- D. **UTP ケーブルの選択:** 前項を参照して、適切な(長さの)ケーブルを選択し、正しく接続して下さい。
- E. **UTP ケーブルの接続:** UTP ケーブルの両端をトランスミッターとレシーバの RJ45 UTP 接続ポートに差し込んで下さい。これでレシーバに接続されたモニタとスピーカは動作するはずですが。(両端は 568B/568B 形式であることを確認してください。)(規定より)長い距離チェンジャーを使った場合、OVERのLEDがオレンジ色に点灯し、モニタに映像表示されないことがあります。この場合は、より短い距離用のチェンジャーに交換してください。距離チェンジャーを使っても、そのサポートする距離が短すぎる場合は OVER の LED は点灯しませんが、映像の焦点は合わなくなるので、より長い距離チェンジャーを使って下さい。もし表示色が正しくない時は、接続ケーブルまたは RJ45 コネクタを調べてください。トランスミッターは4つの RJ45 システムの出力に対応します。あとの(残りの3システムの)設定も前記と同様です。



レシーバ IE-500R2 の導入図

- F. **機能テスト:** 上記設置の後、レシーバに接続したモニタとスピーカに AV 信号を配信できるようになります。
- G. **問題とその解決:** 導入後に不安定な映像や音声上の問題が見つかった場合、前項を参照するか、さらにサポートが必要な時は購入先にお問い合わせください。
- H. **レシーバに追加の AV 機器を接続:** “LOCAL 1”と”LOCAL 2”のポートに追加で2セットの AV 信号(入力機器)を接続することができ、“S1”と”S2”を押して配信するローカル信号を選択します。左側と右側は独立して動作し、信号 ON(入力のある)のチャンネルに自動的に切り替わります。ノート型パソコンを接続しているときは、関連するファンクションキーによって、VGA 出力があらかじめ有効になっていることを確認してください。

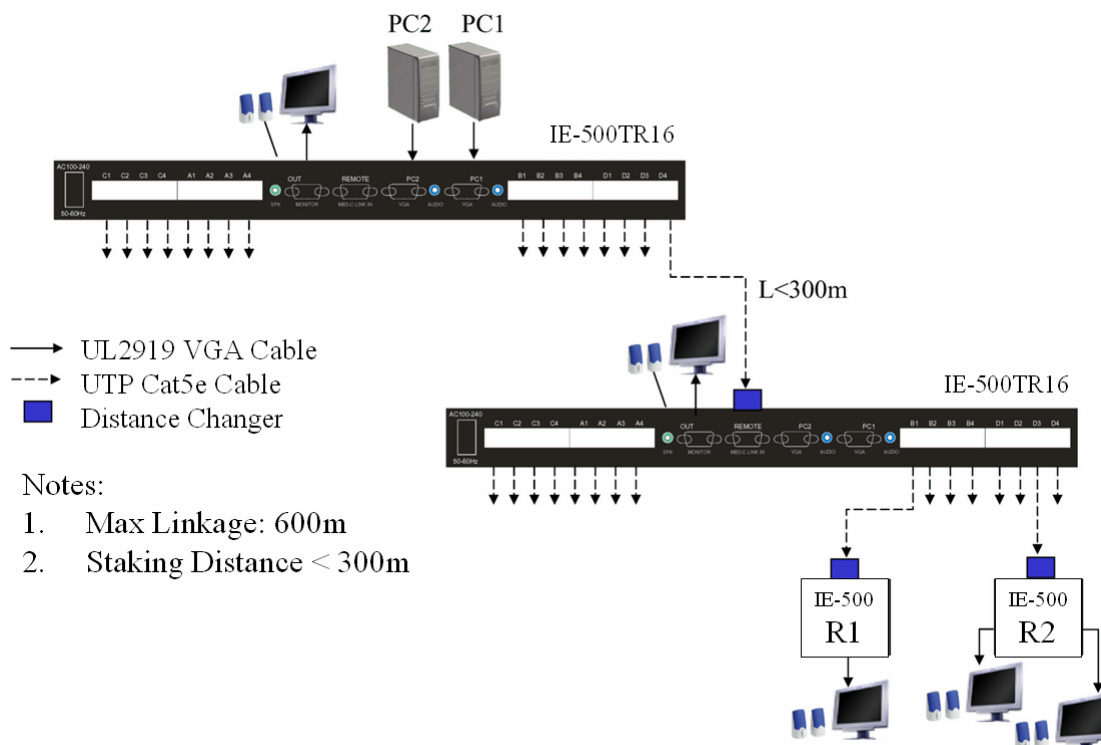


レシーバ IE-500R2 に2セットの AV 機器の追加接続

(5) IE-500 トランシーバ(トランスミッター&レシーバ)モデル: 導入と操作

(製品型番: IE-500-TR4, IE-500-TR8, IE-500-TR16, IE-500-TR32)

- A. **設置場所の選定:** 当トランシーバには、一つのシステム入力ポートと 4/8/16/32(いずれかの数の)出力ポートが装備されており、そのラック組込対応設計によりラック取付金具を使ってラック上のシステムボックスに装着することができます。
- B. **モニタとスピーカの接続:** 電源アダプタをトランシーバに差し込み、モニタとスピーカを”OUT”ポートに接続します。次に AV 機器からトランスミッター筐体の”PC1”ポートに(入力)信号を接続する VGA とオーディオのケーブルを用意し、さらに”PC2”ポートに2番目の AV(入力)機器を(同様に)接続します。“REMOTE”ポートは UTP CAT5e ケーブルにより別のトランシーバのトランスミッター(側)からの信号を受信するために、距離チェンジャーを接続することができます。
- C. **システム出力:** トランシーバには、4ポート、8ポート、16ポート、32ポートの4つの異なる機種があります。ケーブル(接続の仕方)やシステムのレシーバ(IE-500R1, IE-500R2、トランシーバ)の導入については前項を参照して下さい。
- D. **操作:**
 - a. **電源入/切:** フロントパネルの“ACTIVE”ボタンの上にある LED は、電源が入っている状態で青色に点灯し、オレンジ色の点灯で配信中の状態を示します。“ACTIVE”ボタンを押して、配信中と非配信の状態を切り替えることができます。
 - b. **チャンネル選択:** フロントパネルの“PC1”、“PC2”、“REMOTE”ボタンを押して異なる(入力)チャンネルを選択することができます。それぞれのチャンネル(ボタン)の上にある青色 LED は、(そのチャンネルに接続された)PC の信号 ON 状態を示し、オレンジ色 LED は選択された(入力)チャンネルを示します。1回に1つのチャンネルしか選択できません。
- E. **システムの拡張:** このシリーズは、2階層に重ねることで、さらに AV 出力(数)を増やすことができます。



F. 他のインテグレーションや応用: より多くの情報については、販売業者にお問い合わせ下さい。

- (6) システムの能力: 異なる機種で異なる組合せが可能です。例えば、IE-500T1 + IE-500R2、または IE-500T4 + IE-500R1、または 4/8/16/32 ポートトランシーバーを組み合わせる。そして、良い(信号の)品質を保証するには、(CAT5e ケーブルの)総延長距離は600m以内としてください。また、様々な状況に対応するために、システムを2階層に拡張することもできます。固有のプロジェクト設計のための情報が必要な際は、販売業者にお尋ねください。

2. 備考

- (1) 最適な出力を得るために、付属の電源アダプタと高品質のケーブルを使ってください。
- (2) 限定保証:
- いかなる場合も 直接または間接、特別または偶然または結果的に生じる損害、利益の損失、取引上の損失、本製品の使用により生じた本製品の購入費用を越える財務上の損失、に関して責めを負いません。
 - 直接販売業者は、この説明書の内容や使用に関して明に暗に伝えられたことについて、その保証や(メーカーの)代理はしません。また特に製品の品質、性能、市場性、特定の用途への適合性について(保証や代理を)拒否します。
 - 直接販売業者はさらに、いかなるユーザに対しても修正や更新を通知する義務を負うことなく製品や説明書の修正や更新を行う権利を有します。詳しくは直接販売業者にお問い合わせください。